

令和2年度 収支予算書

資料2-4

単位:円

地域包括支援センター (法人名)		高穂 (社会福祉法人 聖優会)	草津 (社会医療法人 誠光会)	老上 (社会福祉法人 よつば会)	玉川 (社会福祉法人 あさひ保育園)	松原 (社会福祉法人 みのり)	新堂 (社会福祉法人 寿会)	合計
収入	市委託料							
	地域包括支援センター委託料	26,268,000	29,375,000	20,101,000	20,894,000	28,815,000	20,604,000	146,057,000
	認知症地域支援推進員活動費委託料	3,038,000	3,038,000	3,038,000	3,038,000	3,038,000	3,038,000	18,228,000
	地域ケア会議推進事業費委託料	3,022,000	3,022,000	3,022,000	3,022,000	3,022,000	3,022,000	18,132,000
	介護予防支援業務・介護予防ケアマネジメント業務 (うち、プラン作成にかかる委託先への支払い分)	7,934,948 (5,225,869)	11,732,040 (9,018,093)	5,452,234 (2,636,058)	6,377,167 (3,699,730)	11,099,192 (8,139,407)	6,085,083 (3,144,771)	48,680,664 (31,863,928)
総額		40,262,948	47,167,040	31,613,234	33,331,167	45,974,192	32,749,083	231,097,664
支出	人件費	30,465,000	30,515,780	21,980,000	23,570,000	33,392,000	26,226,083	166,148,863
	活動費	9,797,948	16,651,260	9,633,234	9,761,167	12,582,192	6,523,000	64,948,801
	(うち、プラン作成にかかる委託先への支払い分)	(5,225,869)	(9,018,093)	(2,636,058)	(3,699,730)	(8,139,407)	(3,144,771)	(31,863,928)
	総額	40,262,948	47,167,040	31,613,234	33,331,167	45,974,192	32,749,083	231,097,664

【収入科目】

1. 市委託料
 - ・地域包括支援センター委託料: 包括運営費
 - ・認知症地域支援推進員活動費委託料: 認知症事業にかかる経費
 - ・地域ケア会議推進事業費委託料: 地域ケア会議開催のための経費
2. 介護予防支援業務・介護予防ケアマネジメント業務: プラン作成料

【支出科目】

1. 人件費: 給与、法定福利費、手当
2. 活動費: 車両リース代、電話・システム回線等通信運搬費、
光熱水費、研修負担金、介護予防ケアプラン委託費など

草津市高穂地域包括支援センター

令和2年度 年間計画書

基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が身近な地域の中で、その人らしい生活を長く続けていけるよう支援する為に、地域の各関係機関(医療、介護、福祉機関、地域住民組織等)との連携に努め、要援護高齢者の把握、支援が行えるネットワークづくりを行います。 センター内の3職種が、職種の特性を生かし、相互に連携、協働しながら、情報を共有、支援方法を検討し、チームアプローチにより支援を行います。
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> 高穂地域包括支援センターが、高齢者の総合相談窓口として地域に周知されるよう、普及活動に努め、相談が入りやすいネットワークの構築を目指します。 地域ケア個別会議を開催し、地域課題の積み重ね、整理を行います。 認知症の正しい知識をもってもらう事を目的に、地域の若い世代への認知症の啓発活動を行っていきます。 高齢者を支援する活動(地域サロン)情報の収集、把握を行います。
行動の指針	<ol style="list-style-type: none"> 各関係機関への周知活動を通して、顔の見える関係を作り、地域に根ざした相談窓口になるよう努めます。 高齢者を支援する活動(地域サロン等)に参加し、活動に参加している方や活動を支援する方とのなじみの関係をつくり、地域の課題を把握します。 地域の高齢者の暮らしに役立つような社会資源の把握、情報提供を行います。

業務名	事業内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1)総合相談支援業務													
①地域におけるネットワークの構築	・地域住民に対する広報 [リーフレット、高齢者をささえるしくみを用いて啓発、周知を行う]	随時	→										
	・出張相談会を開催する [志津学区] [志津まちづくり協議会との共同開催: 志津まちづくり通信にて開催記事を掲載]		○						○				
	・民生委員児童委員との研修交流会の開催 [志津: 1回、志津南: 1回、矢倉: 2回]					→							
	・地域における関係機関の連絡先をまとめ、管理を行う。	随時	→										
	・介護サービス関係機関への訪問 [地域内のデイサービス、デイケア、ショートステイ、訪問看護、訪問介護、福祉用具]										→		
	・医療機関への訪問 [地域内の病院、歯科医院、調剤薬局]						→						
	・地域の高齢者団体への訪問 [地域サロン、老人クラブ、いきいき百歳体操など]		→										
②実態把握	・訪問による実態把握(初回、継続)	随時	→										
③総合相談	・初期段階での相談対応 [朝ミーティングの実施(毎日)、センター職員間での情報共有、課題、支援方針を決める]	随時	→										
	・継続的、専門的な相談支援 [圏域ミーティングの実施(第2、4水曜日午後)、センター職員間での情報共有、課題、支援対応の検討、ケース検討を行う]	随時	→										
	・在宅高齢者福祉事業に関する支援 [福祉サービス利用について高齢者をささえるしくみを用いて、情報提供・支援を行う]	随時	→										
(2)権利擁護業務													
①地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)の利用	・草津市社会福祉協議会への相談を行い、地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)の利用を支援する	随時	→										
②成年後見制度の利用促進	・成年後見制度の活用促進[長寿いきがい課、地域保健課、成年後見センターもだま連携し、広報等の取り組みを行う: 出張相談会や民生委員児童委員定例会等にリーフレットの配布等を行う]	随時	→										
	・成年後見制度の利用にかかる必要性の検討[権利擁護支援についてケース会議を行い、支援方針、役割分担の決定を行う: 圏域地域包括支援センターが主催する]	随時	→										
	・成年後見制度の申し立て支援[成年後見制度の説明、もだまへのつなぎ支援、親族申し立ての支援、市長申し立ての必要なケースの対応]	随時	→										
③老人福祉施設等への措置の支援	・長寿いきがい課や関係機関と連携し、必要に応じて継続的に支援を行う	随時	→										
④高齢者の虐待防止と相談支援	・高齢者や住民、関係機関等からの虐待の相談、通報の受理をし、長寿への連絡を行う	随時	→										
	・虐待対応[事実確認、養護者支援、コアメンバー会議や虐待処遇検討会議、評価会議への参加]	随時	→										
	・虐待の対応の終結にあたり、再発防止を含め、高齢者本人、養護者を適切な支援につなぐ[ケース会議の開催]	随時	→										
⑤困難事例への対応	・地域包括支援センター法律支援事業の活用 [弁護士への訪問によるケース相談、電話相談]	随時	→										
	・困難事例を把握した場合には、対応を検討し、権利擁護ケース会議を開催する	随時	→										
⑥消費者被害の防止	・消費者被害の啓発 [消費生活支援センターのリーフレットを配布する: 地域サロン、民生委員児童委員定例会等]	随時	→										
	・消費者被害の通報 [地域保健課、消費生活センターに通報する]	随時	→										
	・消費者被害者への対応 [地域保健課、消費生活センターと役割分担し、支援を行う]	随時	→										

草津市玉川地域包括支援センター

令和2年度 年間計画書

基本方針	玉川中学校区に暮らす高齢者について、早期に要介護高齢者を把握するとともに、一人ひとりの状況に合ったサービスや地域の活動につなげる支援を行うことにより、高齢者自身の意志を尊重したその人らしい生活を維持できるように支援します。また、医療・介護・福祉の専門職、さらには地域活動団体や住民との顔の見える関係づくりを進め、社会資源の活用とネットワーク構築により、玉川中学校区の高齢者が身近な地域の中で、安心して暮らし続けることができるように支援します。
今年度の目標	センター活動と地域ケア会議を通じて、玉川中学校区内の各エリアごとに地域課題を抽出し、高齢者の暮らしを支える社会資源の開発に地域と連携を図りながら取り組む。
行動の指針	①私たちは、思いやりをもち、丁寧に高齢者やそのご家族の声に耳を傾けます。そして何に困っておられるのかをしっかりと理解することに努力を怠りません。 ②私たちは、高齢者やそのご家族の地域での生活や経験、おかれている状況、お気持ちをできる限り理解し、お困りごとをご一緒に考えさせていただくという姿勢を忘れません。 ③私たちは、高齢者が地域での生活に何が必要で、何に困っておられるのかを常に意識しながら、高齢者が権利侵害されことなく、いきいきと自分らしく暮らせるような地域づくりを目指し活動します。

業務名	事業内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(1)総合相談支援業務														
①地域におけるネットワークの構築	地域住民に対する広報	随時	→											
	民生委員児童委員との研修交流会の開催									←			→	
②実態把握	南笠東学区民児協と合同の高齢者訪問の実施。	←	→											
	民生委員児童委員や遠方の家族、地域のネットワークなどからあがった心配される高齢者への訪問の実施。	随時	→											
③総合相談	初期段階での相談対応。的確な状況把握を行い、専門的または緊急の対応の検討・判断を行う。	←	→											
	継続的・専門的な関与または緊急の対応が必要と判断された場合、課題や支援目標を検討し、適切な支援につなげる。	随時	→											
	在宅高齢者福祉事業に関する相談や支援計画書などの作成。	随時	→											
(2)権利擁護業務														
①地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)の利用	地域福祉権利擁護事業利用のための支援を実施。	随時	→											
②成年後見制度の利用促進	権利擁護ケース会議の開催	随時	→											
	成年後見制度の普及・啓発と申立支援の実施。	随時	→											
③老人福祉施設等への措置の支援	老人福祉法に基づく措置を行う必要のある高齢者へ、長寿いきがい課や関係機関と連携し支援する。	随時	→											
④高齢者の虐待防止と相談支援	高齢者虐待対応・支援を実施。	随時	→											
	高齢者虐待の防止および早期発見のため、普及・啓発を行う。	随時	→											
⑤困難事例への対応	困難事例への対応をする。また、権利擁護ケース会議の開催や地域包括支援センター法律支援事業や法テラスの活用などとする。	随時	→											
	個別事例から課題解決への取組が必要になった場合、総合相談・権利擁護業務会議へ参加する。	随時	→											
⑥消費者被害の防止	消費者被害の啓発。被害を未然に防止するために民生委員児童委員、介護支援専門員、ホームヘルパーに情報提供を行う。	随時	→											
	消費者被害の事例を発見した場合は、地域保健課、消費生活センターに通報し、役割分担を行い支援する。	随時	→											
(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務														
①地域ケア会議を通じた自立支援に資するケアマネジメントの支援	自立支援地域ケア個別会議に出席し、介護予防ケアマネジメントのスキル向上を図り、ケアマネジャー支援など行う。	随時	→											
②包括的・継続的なケア体制の構築	多職種連携推進会議、湖南圏域病院・在宅連携検討会議、在宅歯科診療に関する協議会等への協力。	開催時	→											
	主任ケアマネジャー連絡会の参加および開催協力。ケアマネジャー連絡会、ケアマネジャー向け研修などの開催協力。		5月27日						10月20日			1月20日		
③地域におけるケアマネジャーのネットワークの構築	ケアマネジャー支援を目的としたケース検討(地域ケア個別会議)を開催。			6月10日			9月9日			12月9日			3月10日	
	ケアマネジャーの専門性を高めていくための学習会の開催。			6月10日			9月9日			12月9日			3月10日	
④ケアマネジャーに対する日常的個別指導・相談	ケアマネジャーからの相談に対して、課題解決のために助言し、ケアマネジャー自身が課題に向き合い、多角的に思考できるように支援する。	随時	→											
	ケアマネジャーから受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的な件数の把握に努める。	随時	→											
⑤支援困難事例等への助言等	支援困難事例は、地域保健課とセンター三職種で検討する。必要時、権利擁護ケース会議などで支援方針を明確にする。	随時	→											
	支援困難事例を担当するケアマネジャーへの助言と継続的な支援を行う。	随時	→											
(4)認知症総合支援事業														
①普及・啓発の推進	認知症サポーター養成講座の開催等、認知症に関する啓発の実施・協力	随時	→											
	上記の効果的な実施を目的とした認知症キャラバン・メイトとの連携	随時	→											
②高齢者にやさしい地域づくりの連携	地域安心声かけ訓練への協力											桜ヶ丘予定		
	徘徊リスクのある高齢者の事前登録への協力	随時	→											
③適時、適切な医療・介護の提供	介護保険サービス未利用者の適切なサービス利用のための支援	随時	→											
	地域包括支援センター等に相談につながる仕組みづくり	随時	→											
④若年性認知症施策の強化	若年性認知症の人や家族への支援	随時	→											
⑤介護者への支援	介護者の負担軽減に資する地域資源の把握と必要な人への情報提供、つなぎ支援	随時	→											
⑥推進体制ほか	認知症地域支援推進会議への出席		5月29日									2月26日		

草津市松原地域包括支援センター

令和2年度 年間計画書

基本方針	地域の高齢者が生き生きと自分らしく暮らせるように、医療・介護・福祉・地域力というネットワークを活かし効率的なシステムづくりに取り組みます。
今年度の目標	慣れ親しんだ地域での生活が継続できるように、介護予防・認知症予防・虐待予防など重度化予防に取り組みます。
行動の指針	<ol style="list-style-type: none"> 三職種の専門性を活かしながら、速やかな対応・実態把握に努めます。 権利侵害等を未然に防ぐよう関係機関等の連携を強化し、早期発見・早期対応に努めます。 地域の高齢者支援に携わる民生委員・介護支援専門員・サービス事業所等と連携強化に努めます。 認知症に関する正しい理解や啓発活動を継続し、見守り体制や適切な医療・介護へ繋がるよう努めます。 地域のネットワークに繋がるように、地域ケア会議を推進し地域課題の把握に努めます。 介護に要する期間を先延ばし出来るように、自立・予防・重度化防止に努めます。

業務名	事業内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1)総合相談支援業務													
①地域におけるネットワークの構築	包括支援センターの周知活動 (地域の商店・歯科医院・サービス事業所等)	随時	→										
	民生委員児童委員との研修交流会						笠縫					山田	
②実態把握	地域の関係者等から相談があった方への訪問の実施	随時	→										
③総合相談	報告・連絡・相談を強化し三職種が情報を共有・必要性の判断をする	随時	→										
	緊急性の判断をし、課題・目標を検討、適切な支援、関係機関へと繋ぐ	随時	→										
	困難な課題があれば地域保健課等と協議する	随時	→										
(2)権利擁護業務													
①地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)の利用	地域福祉権利擁護の推進	随時	→										
②成年後見制度の利用促進	成年後見制度の普及・啓発 (個別&サロン等での啓発活動)	随時	→										
	権利擁護ケース会議開催・利用促進	随時	→										
③老人福祉施設等への措置の支援	長寿いきがい課や他機関との連携	随時	→										
④高齢者の虐待防止と相談支援	虐待防止への早期対応・相談支援	随時	→										
	虐待防止・早期発見のため普及・啓発を行う	随時	→										
⑤困難事例への対応	ケース会議や法律支援事業を活用し対応	随時	→										
⑥消費者被害の防止	事案発生の場合は速やかに、消費生活センターへ通報、関係部署への報告	随時	→										
(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務													
①地域ケア会議を通じた自立支援に資するケアマネジメントの支援	自立支援地域ケアカンファレンスへの出席・ケアマネジャーのスキルアップ、地域課題の抽出を図る	随時	→										
	自立支援地域ケアカンファレンスの振り返り会議での成果・改善点の確認	随時	→										
②包括的・継続的なケア体制の構築	主任ケアマネジャー連絡会への参加 ケアマネジャー向け研修会への参加・協力		○				○					○	
	湖南圏域病院・在宅連携検討会議への参加 多職種連携推進会議等への参加				○				○				○
③地域におけるケアマネジャーのネットワークの構築	圏域ケアマネジャーとの勉強会・地域ネットワーク構築を目的とした地域ケア個別会議開催	毎月	→										
	近隣ケアマネジャーとの研修・勉強会開催 (年2回程)						○					○	
④ケアマネジャーに対する日常的個別指導・相談	個別課題解決機能を目的とした、地域ケア個別会議開催	随時	→										
	相談・対応 *共に動くことで課題解決の糸口を見つける	随時	→										
⑤支援困難事例等への助言等	包括三職種で方向性を検討。必要時地域保健課との協力体制を持つ	随時	→										
	継続した支援方法の検討・モニタリングの実施	随時	→										
(4)認知症総合支援事業													
①普及・啓発の推進	認知症サポーター養成講座の開催・啓発 認知症市民講座への協力	随時	→										
	上記の効果的な実施を目的とした認知症キャラバンメイトとの連携	随時	→										
②高齢者にやさしい地域づくりの連携	地域安心声かけ訓練への協力 *笠縫おでかけふれ愛模擬体験の継続・実施						○						
	徘徊リスクのある高齢者の事前登録への協力	随時	→										
③適時、適切な医療・介護の提供	認知症初期集中支援チームとの連携	随時	→										
	介護保険サービス未利用者の適切なサービス利用のための支援	随時	→										
④若年性認知症施策の強化	若年性認知症の人や家族への支援・社会参加の場等の情報収集	随時	→										
⑤介護者への支援	介護者の負担軽減に資する地域資源の把握と必要な人への情報提供、つなぎ支援	随時	→										
⑥推進体制ほか	認知症地域支援推進会議への出席											○	
	認知症に関する相談対応	随時	→										

